

三重県立みえ夢学園高等学校



外観

「三重県立みえ夢学園高等学校」は、1997(平成9)年に津実業高等学校(夜間定時制)を改称して誕生した、三重県津市にある定時制高等学校。午前の部・午後の部・夜間部の3部制をとっている。



1F みんなのトイレ

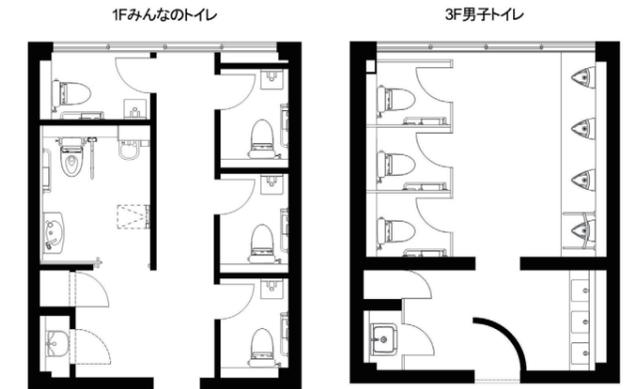
だれでも利用しやすい1Fに設けた「みんなのトイレ」。異なるタイプの仕様を持つ個室完結型ブースが5ブース用意され、明るい空間で入りやすいトイレとなっている。



1F みんなのトイレ
バリアフリートイレ

「みんなのトイレ」には、車いす使用者やオストメイトなど、さまざまな使用者に対応できる設備を完備したバリアフリートイレが1ヶ所設置されている。

トイレ図面



1F みんなのトイレ
個室完結型ブース

用足しから手洗いまでを個室で行える個室完結型ブース。三重県ではすべての学校の女子トイレ、男女共用トイレに生理用品が備えられている。



2F 女子トイレ
洗面コーナー

非接触で利用できる自己発電式の自動水栓により、衛生的に手洗いができる。さらに水栓が壁付きのため、清掃性も向上。また、洗面の奥に棚を設けており、学習道具など手荷物を置いて手洗いすることができる。



2F 女子トイレ
大便器コーナー

すべての大便器にはウォシュレットを設置。便座の暖房や脱臭機能も備わり、快適性が向上している。また、隣のブースとの仕切り壁を天井まで立ち上げて、安心して使用できるように配慮している。



3F 男子トイレ 入口

衛生面に配慮してドアレスに改修された入口。アール形状をとり入れたアプローチが、限られた空間でトイレの中への視線の入り込みを上手く防いでいる。三重県産材を活用し、心地よい木の香りが漂う。



3F 男子トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーでの滞留時間を短くすることを目的に、男女トイレともに鏡は設置していない。また、トイレ出入口付近に全身鏡を設置し、身だしなみを整えることができる。



3F 男子トイレ
小便器コーナー
大便器ブース

汚れやすい小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを設置。大便器はすべて掃除口付き洋式便器とし、ウォシュレットを設置。さらに手荷物が置ける棚や手すりも設置している。

水まわりの特長

改修の経緯

三重県は「三重県立学校施設長寿命化計画」に基づき、2024(令和6)年までに県内62校の県立学校のトイレ改修を予定し推進。20年後も快適に使えるトイレを目指し、耐久性・衛生性・快適性・省エネ性・メンテナンス性を考慮した改修を実施している。「三重県立みえ夢学園高等学校」の改修もその一環である。いままでの和式便器中心のトイレは汚れやすく、外国籍の生徒になじみがなく使用しづらいなどの問題があり、さらに、多様性に配慮したトイレの要望に対応したいという思いから、改修を計画。今回の改修では、すべて洋式便器に変更、さらに個室完結型のトイレを複数設置するなどの対策により、だれもが快適に利用できるトイレが実現している。

トイレの特長

男子、女子トイレとも、限られたスペースの中で改修。アプローチにアール形状の壁を使った入口には三重県産材を活用。衛生性に配慮したドアレス仕様でありながら、通路から直接トイレの中に視線がはいらないように配慮している。大便器ブースは、仕切り壁を天井まで立ち上げ個室感を高め、照明をそれぞれのブース内に設置するなどして、明るく安心して利用できる。さらにすべての大便器にはウォシュレットを設置した。1F昇降口付近には、「みんなのトイレ」として、手洗いを備えた個室完結型ブースを5ブース用意。車いす使用者やオストメイトが利用できるバリアフリートイレも完備された。個室で落ち着いて利用できるほか、男女共用で使える性の多様性に配慮したトイレとなっている。

建築概要

名称	三重県立みえ夢学園高等学校
所在地	三重県津市柳山津興1239
施主	三重県
設計	森本建築事務所
施工	安濃建設株式会社
竣工年月	(改修)2021年11月
敷地面積	16,521㎡
建築面積	1,055㎡
延床面積	2,853㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BC
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5524AU系
棚付二連紙巻:YH701/自動洗浄小便器:UFS900WR
ハイドセラフロアPU:AB680系
ツインデッキカウンター(ボウル一体タイプ):MKWD/壁掛ハイバック洗面:L125系
壁掛洗面器:L270系/壁付自動水栓:TENA125AW
台付自動水栓:TENA41AW/全身鏡:YMK50K